

# 「中期経営方針（H21～23年度）」の骨子

平成21年3月30日  
九州電力株式会社

## 1 経営環境の認識

- 世界的な景気の後退と厳しい収支環境
- エネルギーセキュリティと地球環境問題の重要性の高まり
- エネルギー需要構造の変化
- 設備の高経年化
- ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化などに伴う人や業務をめぐる環境の変化

## 2 基本的な考え方

### (1) 経営姿勢

- 「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九州電力の思い」の実現に向け、大きな時代の変化に的確に対応し、CSRの観点に基づいた経営を推進することを通じ、当社の事業活動に関わる全ての方々の価値を持続的に生み出していく。

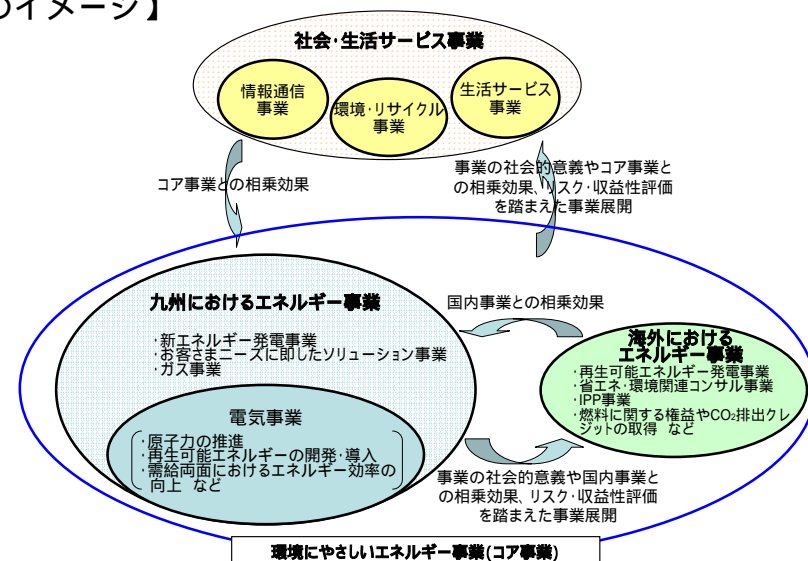
### (2) 対象期間の位置付け（H21～23年度）

- 現状の厳しい経営環境への確に対応するとともに、「長期経営ビジョン」を踏まえ、中長期的な観点から“今、着手しないと手遅れになるおそれがある”課題への取組みをスタートする期間。

## 3 事業領域の考え方

- 「環境にやさしいエネルギー事業」をコア事業として、積極的な展開を図る。
  - ・「九州におけるエネルギー事業」：九州における責任あるエネルギー事業者として、エネルギー・地球環境問題に対する積極的な取組みを推進
  - ・「海外におけるエネルギー事業」：保有する技術やノウハウを活かし、対象国・地域におけるエネルギーの安定供給や効率向上、地球規模でのCO2排出量削減に貢献
- 保有する有形無形の経営資源を活用し、社会的な意義の大きい「社会・生活サービス事業」を展開。
- 事業の社会的意義やコア事業などとの相乗効果、リスク・収益性評価を踏まえた展開を図る。

### 【事業領域のイメージ】



## 4 重点的な取組み

重点的な取組みの柱	取組み項目
(1) 将来を見すえた電力の安定供給への取組みと地球環境問題への対応	原子力の推進や再生可能エネルギーの積極的な開発・導入
	設備の効率化や、高経年化への対応など長期的に安定した効率的な設備の形成
	燃料の長期安定確保
	2008～2012年度平均のCO <sub>2</sub> 排出原単位20%低減(1990年度比)に向けたCO <sub>2</sub> の排出量抑制
	環境にやさしいエネルギーの安全・安定的な供給に向けた研究・開発
(2) 快適性・環境性の両立した付加価値の高いサービスの提供	お客さまへの安定した質の高い電力のお届け
	お客さまのニーズに即したサービスの開発・提供
	お客さまのエネルギー利用の効率化に向けたサービスの提供(CO <sub>2</sub> 排出削減量:9万t CO <sub>2</sub> /年)
(3) 九州やアジア、世界における持続可能な社会づくりへの貢献	公正で透明性の高い事業活動の推進
	エネルギー・環境問題などに関する、社会とのコミュニケーションの充実
	環境にやさしい事業活動への率先した取組みと、お客さまや地域社会などとの協働による取組み推進
	地域の産業や文化などの発展に向けた地域・社会との共生活動の推進
	海外におけるIPP事業や省エネ・環境関連コンサルティング事業などの展開
(4) 情勢変化に対応できる収支構造を目指した取組み	グループの経営資源を活用した、お客さまや地域のニーズに即した事業展開
	リスク評価を踏まえた適切な経営資源の配分と効率性向上
	エネルギー価格の変動リスクを踏まえた燃料の経済的な調達・運用などによる燃料コストの低減
(5) 次代のニーズに対応した働き方の改革や組織づくり	お客さまニーズや経営環境の変化を踏まえた料金メニューの開発
	経営環境の変化を踏まえた業務運営・組織体制の構築
	女性の活躍推進など多様な人材が能力を最大限発揮し、活躍できる環境の整備
	社員一人ひとりの成長支援
	グループ大での経営管理機能の充実
安全と健康を基本として、人を大切にする職場づくり	